

安全報告書

第40期（平成29年10月1日～平成30年9月30日）



水上宝台樹スキー場

- 第1 ペアリフト
- 第2 ペアリフト
- 第6 ペアリフトA線
- 第6 ペアリフトB線
- 第7 ペアリフト
- 第8 クワッドリフト
- 第9 クワッドリフト

片品スノーパル・オグナほたか

- 第1 ペアリフト
- 第2 ロマンズリフト
- 第4 ペアリフト
- 第5 ペアリフト
- 第6 ペアリフト
- 第7 ペアリフト

ごあいさつ

日頃から弊社の宝台樹スキー場、スノーパル・オグナほたかをご利用いただきまして誠にありがとうございます。

弊社では、「お客様に楽しさと満足を」感じていただくため、お客様目線によるスキー場運営を心がけております。そのためにもお客様の安全確保がすべての基本であると考え、毎シーズンごとに策定する「冬期経営基本方針」の第一に「お客様の安全・安心」を掲げ、様々な取組を行っています。

この報告書は、鉄道事業法第19条の4の規定に基づき、索道輸送の安全確保のための取組や安全の実態について広くご理解をいただくために公表するものです。皆様から、ご意見、ご感想をお寄せいただき、今後の安全な輸送に反映させてまいりたいと考えております。

今後とも、弊社のスキー場をご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

武尊山観光開発株式会社
代表取締役社長 関 隆之

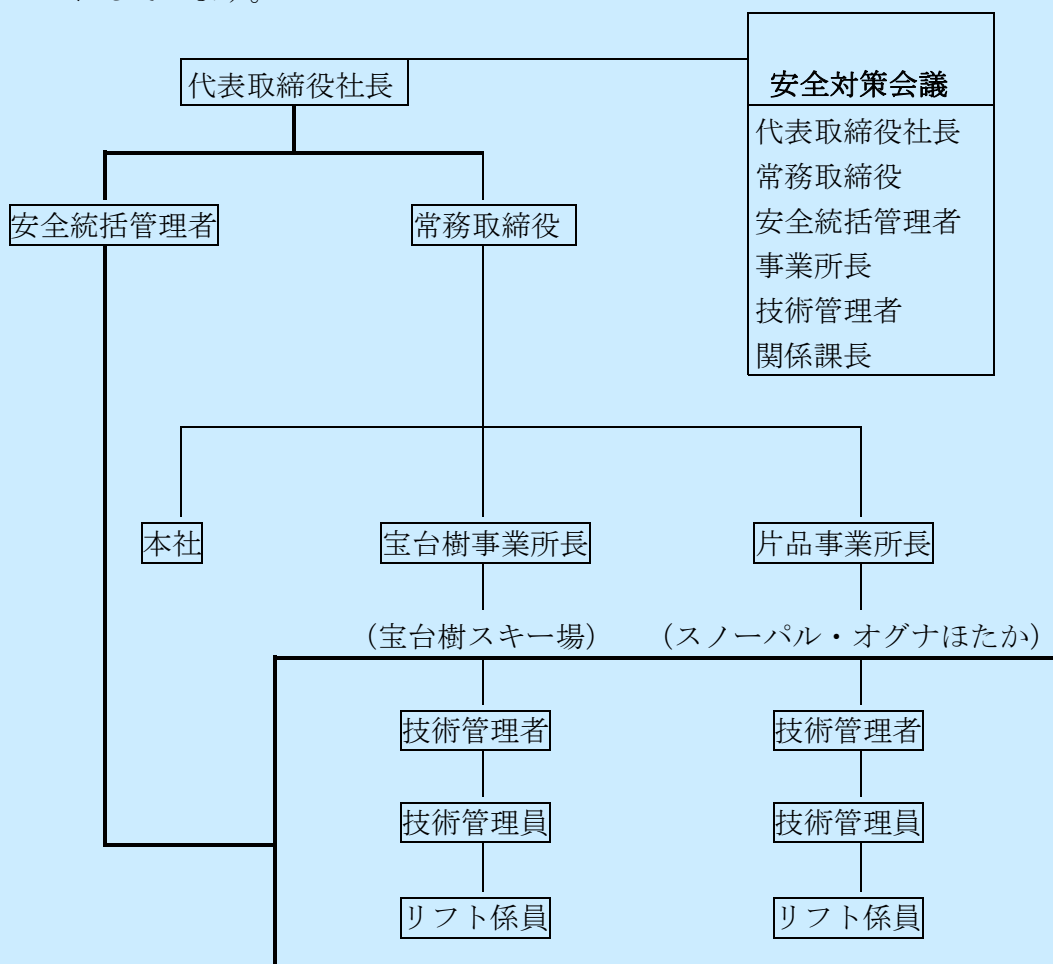
1 安全に関する基本方針

- (1) 社長及び役員は、輸送の安全を確保するための基本方針や索道安全管理規程を定めるなど、安全第一の意識を持って事業活動を行える体制を整備します。
- (2) 社長、役員及び従業員は、次に掲げる行動規範を実践し、輸送の安全を確保します。

- ① 一致団結して輸送の安全を確保します。
- ② 安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な改革に果敢に挑戦します。

2 安全管理体制

社長を最高責任者とする安全管理体制を次図のとおり構築し、各責任者の責務を明確にしています。



3 事故等の発生状況

(1) 索道運転事故 人身障害 1 件 (宝台樹スキー場)

〈概況〉

第9クラウドリフト山麓停留所で、フード開閉装置の電源が投入されておらず、乗客が搬器により前方へ押し出され停留所斜路で転倒した。

〈措置〉

始業点検の業務分担、要領を作成、担当業務を明確化した。営業期間前、営業期間中の始業点検の訓練を実施する。

(2) 災害はありません。

(3) インシデント 運転阻害 1 件 (スノーパル・オグナほたか)

〈概況〉

第6ペアリフト営業運転中、山麓停留所の雪面整備用重機が搬器へ接触、その影響で搬器が降り1号支柱のワイヤーが脱索、リフトが停止した。

〈措置〉

営業時間中の乗降場整備に重機は使用せず、重機による整備は営業前、営業後とする。

4 安全確保のための取組

(1) 安全教育について

輸送の安全性確保のためには、従事者の知識・技能の向上は勿論、そのための教育の充実等が重要と考えます。

弊社では、シーズン営業前に、索道施設の取扱、乗客への適切な対応等について索道関係者合同基本研修会を開催するなど、安全教育を実施しています。

また、シーズン営業中も定期的の実務研修等を実施し、安全輸送に対する意識の保持に努めています。更に、索道従事者を専門機関主催の各種研修会等へ参加させています。

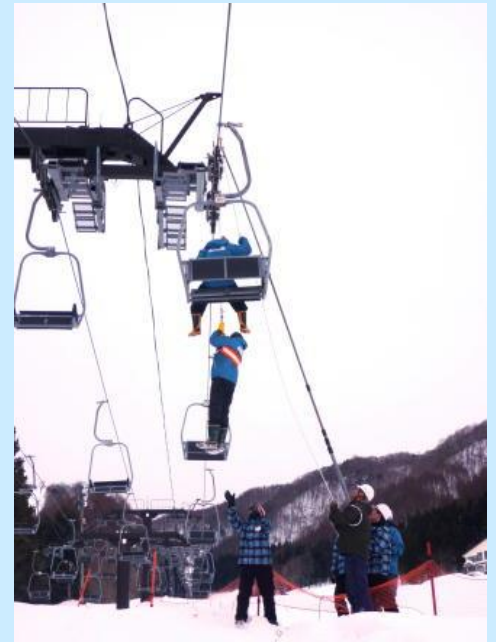
安全教育講習風景(技能向上)



救助訓練風景

(2) 緊急時対応訓練について

シーズン営業前に、索道従事者全員による救助訓練及び予備原動装置取扱訓練を実施しています。また、シーズン営業中も随時、救助訓練等を実施し、索道従事者の技術等の保持・向上を図っています。



夏期整備風景

(3) 安全のための投資について

索道輸送の安全確保については、每期、リフト収入の10%以上を索道施設の維持・管理に係る経費として計上し、計画的な施設の保守・管理に取り組んでいます。

具体的には、今期(40期)の主要整備は下記のとおりです。



●水上宝台樹スキー場

- ・第6ペアリフトB線、油圧緊張ユニット更新
- ・第7ペアリフト握索機更新
- ・第8クワッドリフト握索機オーバーホール（分解整備）
- ・第9クワッドリフト山頂緊張滑車軸オーバーホール・ゴムライナー交換
- ・その他各リフト支柱索受装置オーバーホール、機械油脂類交換等

●スノーパル・オグナほたか

- ・第1ペアリフト、減速機・電動機・山頂折り返し滑車軸オーバーホール
- ・第6ペアリフト、搬器サスペンダー部緩衝ゴム交換
- ・第7ペアリフト、減速機・油圧制動ユニットオーバーホール
- ・その他各リフト支柱索受装置オーバーホール、機械油脂類交換等

5 弊社からお客様へのお願い

スキー場はスノースポーツを存分に楽しむ場ではありますが、他方、相応の危険を伴うスポーツの場でもあります。

弊社のスキー場ではお客様の安全を守るため最善の努力をしておりますが、お客様におかれましても、ご自身の安全のため、また、他のお客様の安全のためにも次の事項に十分ご注意くださいようお願い申し上げます。

- ① スノースポーツは危険を伴うスポーツであることを自覚しましょう。
- ② スキー場管理区域内の決められたコース・ゲレンデを守って滑走してください。
- ③ スキー場管理区域外での事故発生に関して、スキー場管理者は一切の責任を負いません。
- ④ 自分の体調・能力、地形・雪、天候、自然・人工の障害物の状況等を見極め、危険を回避し、コースや滑り方を選び、安全なスピードで滑走してください。
- ⑤ 周りに注意し、他のスキーヤー・スノーボーダーへの配慮をお願いします。
- ⑥ スキー場にある表示・標識等に注意し、それらや係員の指示などに従ってください。
- ⑦ リフト乗車中は、落下防止設備のあるリフトはセーフティーバーを下ろしてください。
- ⑧ リフト搬器の座板やフレームなどに、衣服や携帯品等をはさまないように注意してください。
- ⑨ リフト乗車中は、搬器を揺らしたり、飛び降りたりしないでください。
- ⑩ リフト降車時には、スキーやスノーボードの先端を上げ、降車位置にまっすぐに向かって降車してください。
- ⑪ ケガ防止のためヘルメットを着用してください。特に、パークを利用する際は必ず着用してください。
- ⑫ スキーやスノーボードの流れ止め装置(リーシュコード等)を装着してください。